

# 新潟市立白南中学校

## オレンジはレスキューの魂

～白南地域は私たちが支えます～

### 活動の特徴

- 1 中学校区内の避難所運営計画の策定
- 2 中学校区独自の持続的・開発的な防災訓練プログラムの策定
- 3 要支援者のサポート意識と技能の向上(ピア・サポート)



弥彦山 ▲

弥彦村

北陸自動車道

460

信越

越西線

五泉市

磐越西

茨曾根小学校



庄瀬小学校  
田上町

白南中学校



新飯田小学校

加茂市

弥彦村

燕市

三条市

信越本線

290

越後線

403

弥彦山 ▲

# 目的

- 1 中学生が中学校区における地域防災の課題と課題解決を通して、地域を支える意識を育てる。
- 2 活動を軸に、3地域のコミュニティが融合した、継続可能で実践・実用的な中学校区独自の防災訓練プログラムを策定する。
- 3 活動を通して、いざ！というときのために、中学生や教職員と地域住民と互いの顔がわかる関係性を構築する。



# 設定理由

- 1 当中学校は輪中地域で、高校生以上の住民は、川を越えて通学・通勤している。一方在宅高齢者の割合が高く、独居老人も多い。以上のことから、地域防災について、中学生の力が期待され、地域から強く望まれている。
- 2 校区が広く、3つのコミュニティの独自性が強い。また、3コミュニティの防災についての意識に大きな差があり、3小学校区のある当校への避難訓練などで融合できていない。本活動をとおして課題解決を図りたい。

# 学習内容と学習形態

## ○教科の学習：学年・学級別

理科（災害発生のメカニズム）、

社会科（国や地方公共団体、地域の防災への取組）

保健体育（ストレス対処、自然災害による傷害の防止、応急手当、  
感染症予防）

技術・家庭（災害と衣食住、防災ラジオづくり、情報）

## ○道徳：全校道徳（レジリエンス教育）と各学年・学級

## ○総合的な学習の時間：全校縦割り班（異学年・男女混合班）

担当する避難所は、自宅から近い所を選択

# 期待される効果

- 1 中学生が中心となり、地域住民と共に中学校独自の防災プログラム策定の活動をとおして、中学生の主体性と自己有用感が高まる。
- 2 避難所運営活動をとおして、災害弱者と呼ばれる年少者、高齢者、障がい者、外国人などの困り感に気づき、協働的課題解決力とコミュニケーション能力を育成できる。
- 3 中学生が被援助者(小学生等)とともに活動することにより、援助者(中学生)の未来のモデルとしての未来のモデルとしての認識が高まる。
- 4 3コミュニティの融合と地域全体の防災意識が高まる。

# 教科での学習

(社会科：自然災害と防災への取組→身近な地域の学習)  
学区のハザードマップを見てみよう





# 教科での学習 (技術・家庭科:安全な住まい 災害への備え)



**ねらい** 自然災害などにおける非常時の備えについて考えよう

**学習課題** 自然災害などにおける非常時の具体的な工夫や方法にはどんなものがあるだろう。

**手順・手法** 防災グッズ(非常持ち出し品)を準備しよう

<p><b>貴重品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金(小銭)</li> <li>・薬(薬手帳)</li> <li>・携帯電話</li> <li>・IDかん</li> </ul>	<p>健康保険証 のコピー 身分証明書 のコピー</p>	<p><b>情報収用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ</li> <li>・スマホ</li> <li>・身内の連絡先など</li> </ul>	<p>筆記用具 油性マジック</p>	<p><b>食料など</b></p>	<p>WATER 非常食</p>
<p><b>便利品 など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かいちゅう電とう</li> <li>・なべ</li> <li>・新聞紙</li> <li>・ダンボール</li> <li>・アイスクリーム袋のやつ</li> </ul>	<p>ビニール袋 簡易トイレ など</p>	<p><b>清潔・健康 のためのもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯トイレ</li> <li>・ウェットティッシュ</li> <li>・ハンカチ</li> </ul>	<p>着替え タオル</p>	<p><b>その他</b></p>	<p>紙おむつ ミルク 自分の生活 用品</p>

**ポイント**

1. 手がつかない
2. 軽くコンパクト
3. 自分や家族
4. 優先順位
5. 定期的な確認



## 技術・家庭科の作品

- 技術分野：防災ラジオの作製
- 家庭分野：非常持ち出し袋の作製
- 家庭分野：防災食レシピを考えよう  
調理実習：防災食づくり



# 共助：地域の防災訓練に参加





# 地域の防災訓練の内容

- 避難所に自治会や隣組でまとまって避難
- 避難所に到着したら・・・
  - ・受付(人数の確認)
  - ・初期消火訓練(バケツリレーや水消火器を使用)
  - ・防災迷路(クイズを解きながら防災に関する知識を学ぶ)
  - ・炊き出し訓練
  - ・給水体験
  - ・AED訓練

# 地域の防災訓練の悩み

○主催者の声：係が短期間で交代し、訓練の内容をどのようにしたら  
良いか分からない。→→→訓練内容は前年度踏襲



○参加者の声：毎年同じ内容で飽きた→→訓練参加者の減少

○中学生の声：毎年この訓練だけで大丈夫？

→→避難所の実態に合った訓練の必要性



# 避難所調査：施設を避難所の視点で見よう





# 新潟県で起きた自然災害について学ぶ (中越地震、中越沖地震、新潟・福島豪雨)



＜学び・考える＞

講演1 南区の災害に関する現状を知る



新潟大学災害・復興科学研究所  
教授 卜部 厚志 様

専門家の方から、科学的知見  
を学ぶ。(地震・水害)



# 生徒の感想

- じいちゃんから、「水があふれても下流に流れていくからここは大丈夫だ。」と聞いていましたが、堤防の近くは破壊力が凄いと聞き、自分が住んでいる所の危険性を知りました。やっぱりちゃんと勉強しないとダメと思いました。
- 活断層が近くにあるとは知りませんでした。安全なところはないと改めて知りました。「予め分かることで命を落としてはいけません。」大丈夫だと思わず、行動に移すことが大事だと思いました。



<深める・考える>

校外学習 現地から学ぶ(三条水防学習館)



# 校外学習 現地から学ぶ (おぢや震災ミュージアム そなえ館)





# 校外学習 現地から学ぶ (やまこし復興交流館 おらたる)



# 校外学習 現地から学ぶ

(かしわざき市民活動センターまちから 中越沖メモリアル)





# 折れない心、心の回復力を身につけよう レジリエンス教育（道徳）



# 生徒の感想

- ・自分の強みを見つけることが大切だと思いました。
- ・ネガティブな感情から脱する方法が知れて良かった。
- ・災害の絶望感から立ち直るには、法律や制度などを知って、見通しをもてることが大事だと思う。

(3年生レジリエンス学習後、社会科公民的分野の授業中の発言)

# <学び・考える>

## 講演2 地域を支える力は何かを知る



元新潟県警察本部警備部  
機動隊長 嶋田 啓介 様

- ・新潟・福島豪雨救助
- ・旧山古志村全村避難指揮
- ・中越地震 妙見の崖崩れ  
「奇跡の救出」にあたる。



# 生徒の感想

- ・若い人とベテランの人が協力することによって、とてつもない力が発揮できるのだと思った。
- ・普段から地域を知っておくことが大切だと思った。
- ・次の瞬間は何が起こるか分からないから、今を大切にしたい。

# 発災直後の避難所設営について考えよう (地域住民と職員も参加、HUGを活用)



# 生徒・地域住民の感想

- ・避難者に対応しきれない！！
- ・こんなことまで考えなければならないのか！！
- ・とても全員は入れない！！



- 避難所に避難した方がいいのか、自宅や親戚の家に避難した方がいいのかを考える必要があるのではないか。
- ストレスを軽減するにはどうしたらいいのかを考える必要がある。



# 中・長期の避難所運営を考えよう (「さすけなふる」を活用して)



# 生徒の感想

避難所＝「難」を「避」ける場所

◎助かった命を、避難所で失わせてはならない。

- 大きな声だけでなく、「小さな声(心の声)」を聞き出す声かけや工夫が必要
- 公平よりも公正を考えた支援が必要

# 防災学習のまとめと振り返り (地域住民とともに)

- 災害、避難、支援・・・他人事でなく「**自分事**」としてとらえること。
- 被災地への校外学習・・・現場を見てくる(写真・映像も含む)、  
**現実を知る**(報道や本には出ていない、被災者やボランティアの方の生の声を聞く)重要性

「人を救うのは人」・・・中学生でできること(むしろ中学生が知っている、動ける)

「地域のプロは地域住民」・・・地域を知る、コミュニケーションを図ることが大切



# 地域へ発信 防災訓練の提言

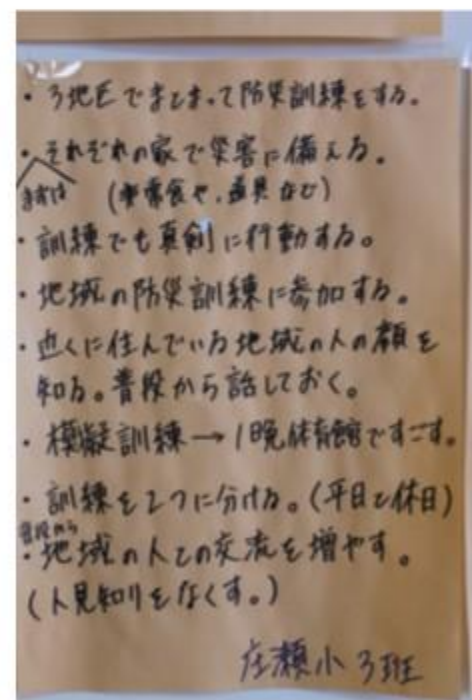
本番のように訓練を、訓練のように本番を！

- ・3地区が同じ日に防災訓練を行う。

(白南中学校は、2つの地区から避難してくる可能性が高く、地区ごと  
でやっていたのでは実態がつかめない。)

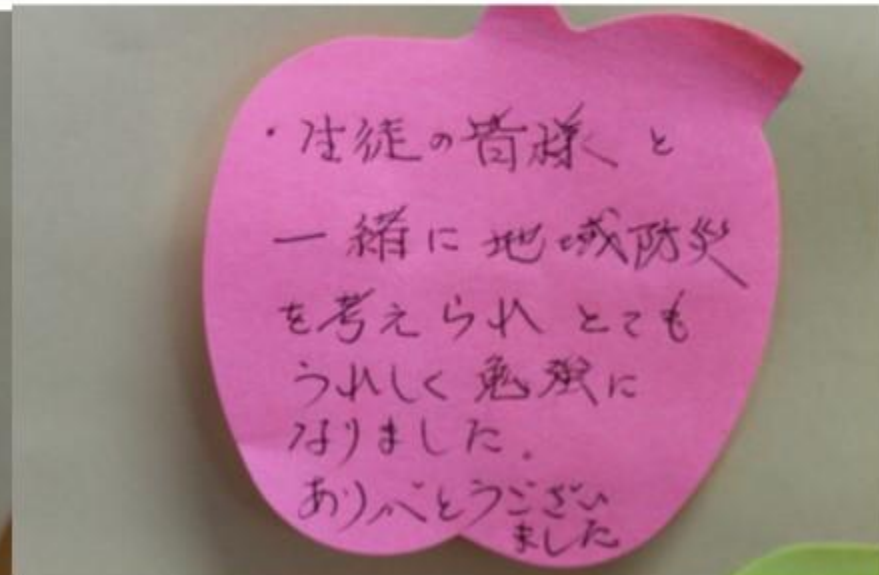
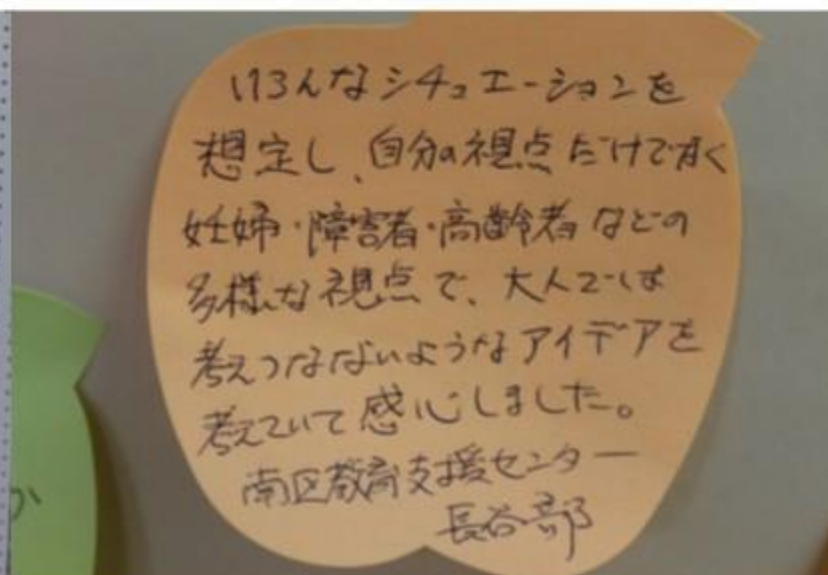
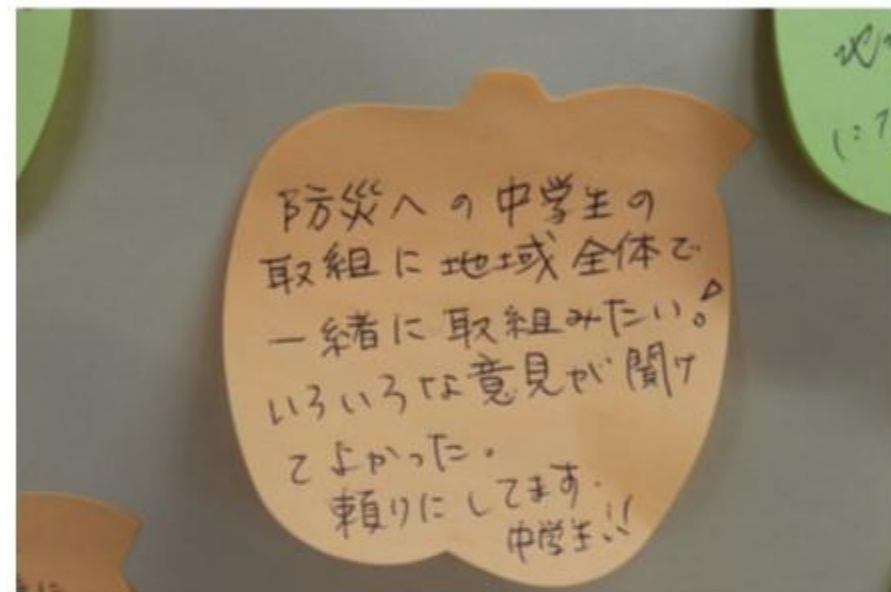
- ・防災訓練の企画に中学生も入れる。
- ・年によって、訓練内容を変える。
- ・避難所運営訓練を参加者で行う。

(様々な視点を、住民が得ることで、苦情  
が減り、理解・協力を得やすい。)



# 地域住民の声

中学生の防災への取組に  
地域全体で一緒に取り組みたい！  
色々な意見が聞けてよかった。  
頼りにしています中学生！！









# ありがとうございました。

(下の写真は新潟市南区役所提供)

## 新潟市南区～特産～

幻の西洋梨『ルレクチェ』



## 新潟市南区～伝統～

白根  
大風合戦



白根仏壇



角兵衛獅子

